

CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyotoが開催されました
- 参加団体の活動紹介
- 日本医学シミュレーション学会の活動
- 日本精神科看護技術協会の活動
- フォーラム・セミナー等のご案内
- フォーラム・セミナー等のご報告
- 肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto 市民公開講座
が開催されました

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました！
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A
→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)
- キャンペーンポスターをご利用ください
完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryoku_koho.html
基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに 心よりお見舞い申し上げます

[災害時の医療安全](#) [質問掲示板\[災害時のプライマリーケアに必要な知識\]](#)

* [公開ページ/トップ](#) からご覧ください

共同行動からのお知らせ

肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyotoが開催されました



7/24肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyotoより

7月23日(土)・24日(日)に京都で開催された「肺塞栓症予防国際フォーラムin Kyoto」は盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただいた皆様、講師の皆様、開催にご協力いただいた病院、団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

*

「肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto」は医療安全全国共同行動と英国の予防グループの共催のもと、7月24日(日)に京都宝ヶ池のグランドプリンスホテル京都で開催され、また、その前日に企画の一環として、みやこめっせで「肺塞栓症予防セミナー」と「市民公開講座」が開催されました。

「肺塞栓症予防セミナー」は、医療安全全国共同行動企画委員会、行動目標2「周術期肺塞栓症の予防」支援チーム、行動目標8「患者・市民の医療参加」支援チームが参画し、京都市立病院と洛和会音羽病院によるセミナー協力病院、厚生労働省、京都



7/23肺塞栓症予防セミナーより

市、京都府、京都府看護協会、京都府薬剤師会の後援団体、共催セミナー協力企業、展示企業など多くの方々の協力・支援のもとで開催されました。

「市民公開講座」は肺塞栓症・深部静脈血栓症友の会代表、江原幸一さんの総合司会のもとで、妊娠と出産時、手術時、災害時の静脈血栓予防について、多くの講師のもとで活発な討論が行われました。

「肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto」では、医療安全全国共同行動議長の高久史磨先生が共同議長となり、肺塞栓症予防国際フォーラムの発足と静脈血栓塞栓症予防に関する国際共同声明が採択されました。また、今後この声明をもとに、各国でVTE予防を広めるため、定期的に各国で「肺塞栓症予防国際フォーラム」を開催することも採択されました。医療安全全国共同行動としても、この国際共同声明が我が国でも医療従事者のみならず、市民の方々にも広められるよう、活動を展開していきたいと考えています。

(行動目標2「周術期肺塞栓症の予防」支援チームリーダー 瀬尾憲正)

静脈血栓塞栓症(VTE)予防に関する国際共同声明(仮訳)

静脈血栓塞栓症(VTE)は、回避可能な院内死亡の原因の第1位であり、国際的に重要な患者安全上の課題となっている。VTEは、入院中あるいは入院後3ヵ月以内に死亡する全患者の10%で、その直接死因となっている。高リスク患者の深部静脈血栓症(DVT)および肺塞栓症(PE)の予防と治療に関しては、有効性が実証された幾つかの措置が利用可能である。しかし、現在のところ、そのような有効な措置の恩恵を享受できる筈の患者の大多数がそれらの措置を受けていない。私たちは、VTEに関連して生じる健康被害を低減させるため、VTE予防のためのシステム全体にわたるアプローチを世界的な規模で適用することを支持する。このアプローチでは以下のことを目指す：

- ⇒VTEのリスクに関する一般人の関心と情報のレベルを高める。
- ⇒VTE予防についての医療専門職教育を改善する。
- ⇒入院患者のVTE予防に関する体系的アプローチを策定する。
- ⇒すべての病院で公式な戦略を遂行するために、書面による病院全体としてのVTE予防方策を行う。
- ⇒VTEのベストプラクティス順守をモニターするためのシステムを策定する。
- ⇒国内外のデータ収集におけるVTE評価基準を改善する。
- ⇒VTE予防を医療政策決定者における最重要事項とする。

*原文 INTERNATIONAL CONSENSUS STATEMENT ON VTE PREVENTIONは、

<http://kyodokodo.jp/doc/event/VTE110724.pdf> をご覧ください。

*市民公開講座の報告は本号6ページをご覧ください。

*肺塞栓症予防セミナーと24日の国際フォーラムの報告は次号掲載の予定です。

*肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto <http://kyodokodo.jp/doc/event/110723.pdf>

日本医学シミュレーション学会の活動

医療安全に向けて行動目標に関連したセミナーを実施

日本医学シミュレーション学会
事務局長 上農 喜朗

日本医学シミュレーション学会(Japanese Association for Medical Simulation:JAMS)は、医学シミュレーションを通して、医学教育、臨床医学、医学研究、医療の安全管理に貢献することを目的として、2005年4月1日に発足しました。発足以来、周術期の危機的状況・救急・院内急変への対応訓練のためのセミナーを実施しています。



[主なセミナー]

1. Difficult Airway Management (DAM) 実践セミナー

日本麻酔科学会気道管理アルゴリズム・米国麻酔科学会困難気道アルゴリズムに基づく周術期の気道管理に関する教育セミナーです。技術の習得だけでなく周術期管理チームの教育訓練を目的としています。2004年開始以来、40回開催し、麻酔科医・救命救急医・集中治療医を中心に呼吸管理に関わる医師と看護師600名以上が受講しています。日本麻酔科学会専門医申請単位認定講習会です。(行動目標6・9)

2. 高機能患者シミュレータ(HPS)セミナー

高機能患者シミュレータは生理学・薬理学モデルに基づいて生体の反応を再現することができます。このシミュレータを用いて患者を再現し、実際に治療することを通して、知識を確認し病態を理解します。さらに、緊急時の意思決定のプロセスを習得し、医療チームとしての行動訓練を行うことを最終目標としています。(行動目標1・2・5b・6・7・9)

3. Central Venous Catheterization (CVC) 実践セミナー・指導者養成コース

安全に中心静脈穿刺を実施するための理論と実際を習得するためのコースです。指導者養成コースでは地域や施設で中心となって実践セミナーを開催する指導者を養成します。(行動目標3b)

このほか「臨床初期研修医セミナー(行動目標3b・5b・6)」「院内急変チーム(MET)セミナー(行動目標6)」「セデーションセミナー(行動目標1)」なども実施しています。

[日本医学シミュレーション学会総会]

シミュレーション教育に携わっている医療関係者による研究発表、新しい教育プログラムの提案とカリキュラム作成、シミュレーション教育に関する情報交換を行い、各種セミナーの指導者養成コースも併催しています。

第7回JAMS総会は2012年1月7-9日、和歌山県田辺市Big-Uにおいて開催予定です。

* 日本医学シミュレーション学会のホームページ <http://www.jsdam.com/>

特例社団法人 日本精神科看護技術協会の活動

日本精神科看護技術協会の医療安全活動

特例社団法人日本精神科看護技術協会は、平成13年度より「医療安全推進週間(11月25日を含む1週間)」に、医療関係者の意識向上、医療機関における組織的取り組みの促進等を目的とした講演、シンポジウムを実施しています。



1. 医療安全推進フォーラム(過去の実績一覧)

回	項目	実施内容
平成18年度 第1回(東京都)	講演	「看護におけるリスクマネジメント」 講師 嶋森 好子(京都大学医学部附属病院看護部長)
	【会場】 慶應義塾大学 三田キャンパス	シンポジウム 「精神科におけるリスクマネジメントの現状と課題」 シンポジスト 川田 和人(石川県 松原愛育会松原病院ゼネラルリスクマネジャー) 東京都福祉保健局医療政策部医療安全課 梶本 伸一(愛媛県 十全会十全第二病院看護部長)
平成19年度 第2回(岡山県)	講演	「精神科における医療事故の実例」 講師 木村 眞子(医療法人全国社会保険協会連合会)
	【会場】 岡山コンベンションセンター	シンポジウム 「誤薬防止への取り組み」 シンポジスト 斎藤 ひろみ(菊陽病院) 長谷川 静子(石川県立高松病院) 吉尾 隆(桜ヶ丘病院) 諸川 由美代(ヤンセンファーマ(株))
平成20年度 第3回(東京都)	講演	「精神科における医療事故の実態と対策」 講師 南良武(木島病院)
	【会場】 慶應義塾大学 三田キャンパス	シンポジウム 「危険物の取り扱いと人権」 シンポジスト 眞鍋 信一(大阪府 さわ病院) 早瀬 和彦(神奈川県 曾我病院) 榎尾 わかな(弁護士)
平成21年度 第4回(鹿児島県)	講演	「これからの医療と病院経営」 講師 中村 秀一(社会保険診療報酬支払基金)
	【会場】 ブルーウェブイン 鹿児島	シンポジウム 「医療事故から学ぶ」 シンポジスト 浅田 眞弓(松岡・浅田法律事務所) 出河 雅彦(朝日新聞)
平成22年度 第5回(神奈川県)	講演	第1部「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」 ～日本医療安全調査機構のモデル事業の取り組みについて～ 講師 畑 涼子(日本医療安全調査機構)
	【会場】 神奈川県立 保健福祉大学	シンポジウム 第2部「院内での事故発生時の判断と対応」 講師 戸田 一男(大阪府立精神医療センター) 「転倒・転落の現状と対策」～事故防止とQOLのジレンマ～ シンポジスト 工藤 正志(久盛会秋田緑ヶ丘病院) 大嶋 光子(椋山女学園大学看護学部看護学科) 南 敦司(財団法人仁明会病院)

2. 研修会開催

1) 医療安全管理者養成研修会

【概要】 医療安全の基本的知識、安全管理体制の構築、情報収集と分析および対策立案から評価、事故発生時の対応などについて学ぶことができます。

* 医療安全対策加算1・2算定のための研修会の条件を満たしています。

2) 委員会シリーズ「医療安全」

【概要】 精神科病院における医療事故の予防と対策の実例や組織横断的に対応することによって安全な医療・看護サービスを提供できる委員会の機能について学べます。

* 特例社団法人日本精神科看護技術協会

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7 階

Tel.03-5796-7033 Fax.03-5796-7034 E-mail info@jpna.or.jp URL http://www.jpna.jp

フォーラム・セミナー等のご案内

9目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門 (目標7に関連)

定員に達したため締め切られました

日程：2011年8月7日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)

場所：自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110619.pdf> をご覧ください。

NEW! 第12回CVC指導者養成コース (目標3bに関連)

日時：2011年8月6日(土) 9:30~17:00

会場：島根県立中央病院

主催：日本医学シミュレーション学会(JAMS)

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/jams.html> をご覧ください。

輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム (目標5aに関連)

日程：2011年8月24日(水)・25日(木)

会場：テルモメディカルプラネックス EAST(神奈川県足柄上郡中井町)

監修：武蔵野赤十字病院 杉山良子

主催：テルモ株式会社 後援：医療安全全国共同行動

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/110824.pdf> をご覧ください。

第40回DAM実践セミナーin紀伊田辺(看護師枠で募集) (目標3bに関連)

日時：2011年8月27日(土) 9:00~15:10

会場：社会保険 紀南病院

主催：日本医学シミュレーション学会(JAMS)

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/110702.html> をご覧ください。

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈北海道室蘭地区〉

日時：2011年9月3日(土) 13:00~17:00(12:00から製品展示)

会場：室蘭市市民会館

〈岐阜地区〉

日時：2011年10月22日(土) 13:00~17:00

会場：長良川国際会議場 国際会議室(岐阜県岐阜市)

〈神奈川地区〉

日時：2011年11月5日(土) 13:00~17:00

会場：聖マリアンナ医科大学 臨床講堂(川崎市宮前区)

主催：日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html> をご覧ください。

心臓血管外科専門医認定機構医療安全講習会

日時：2011年10月9日(日) 15:15～16:00

会場：名古屋国際会議場 <http://www.nagoya-congress-center.jp/>

主催：第64回日本胸部外科学会学術集会 <http://www.congre.co.jp/jats64/index.html>

* 詳細は心臓血管外科専門医認定機構へお問い合わせください。

TEL.03-3812-4253 FAX.03-3816-4560

<http://cvs.umin.jp/> cvs-master@umin.ac.jp

日本精神科看護技術協会主催

医療安全推進フォーラム in 広島

日時：2011年11月19日(土) 10:00～16:00

会場：RCC文化センター <http://www.rccbc.co.jp/> (広島県広島市中区橋本町5-11)

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/111119.html> をご覧ください。

日本精神科看護技術協会主催

医療安全管理者養成研修会

日時：2012年2月6日(月)～10日(金)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。

日本精神科看護技術協会主催

委員会シリーズ 医療安全(仮)

[東京] 日時：2012年1月18日(水)

会場：東京研修会場(品川キャナルビル7階)

[京都] 日時：2012年2月22日(水)

会場：京都研修センター(烏丸ビル8階)

* 詳細は日本精神科看護技術協会ホームページ <http://www.jpna.jp/> をご覧ください。

フォーラム・セミナー等のご報告

肺塞栓症予防国際フォーラム in Kyoto 市民公開講座が開催されました

「今だから知りたいエコノミークラス症候群(静脈血栓症)—妊娠と出産時、手術時、災害時の医療安全」

第一線医師らによる市民のための肺塞栓症予防講座

7月23日(土)に京都みやこめっせで「肺塞栓症予防国際フォーラム」の市民公開講座が開催されました。この講座は共同行動の目標2「周術期肺塞栓症の予防」支援チームに企画をまとめていただき、目標8「患者・市民の医療参加」支援チームに運営の協力をいただき、厚生労働省、京都市、京都府、京都府看護協会、京都府薬剤師会の後援のもとに実現しました。同時開催の「肺塞栓症予防セミナー」で発表された肺塞栓症の第一線で活躍する医師らが市民のために講座を持つのは初めての機会でした。



講演は第1部「『安全な医療』のために市民みんなができること」では、(1)患者・家族による肺塞

栓症予防普及の活動、(2)東日本大震災での肺塞栓症予防の実践的な活動が報告されました。

第2部『『安全な出産』のための血栓症の予防』では、(1)出産時における肺塞栓症の危険性について、(2)肺塞栓症の特徴と予防法についてわかりやすく解説していただきました。

第3部『『安全な手術』のための血栓症の予防』では、(1)整形外科で起こる血栓症の症例についてX線写真で解説され、(2)外科で起こる血栓症についてその頻度と症例が示され、予防について詳しい説明がありました。最後に特別発言として、肺塞栓症研究会代表世話人の中野赳先生に「肺塞栓症の予防には、患者さんに肺塞栓症や血栓症について知ってもらい、自覚症状を患者さんから医師へ躊躇せずに伝えることも重要です」などの貴重なご提言をいただくことができました。

休憩の時間を使って実際に体と足首を動かし、入院した際にベッドの上で患者自身が肺塞栓症の予防のために運動できるように指導していただきました。

3時間におよぶ講演でしたが、参加者のほとんど退席することなく熱心に聞き入っていました。参加者の数名は交流会に参加し、高齢である自分自身が入院する際の肺塞栓症の予防について先生に詳しく聞いていました。豊富な資料と実際の写真を見ることができ、肺塞栓症の予防の重要性を認識する大変有意義な市民講座になりました。

会場の外では被災地に提供された段ボールベッドが展示され、避難所や仮設住宅で高齢者の健康維持のためにベッドの使用が必要であることなどの説明をしていただきました。

講演していただいた先生および準備していただいた実行委員会のスタッフの皆様に感謝申し上げます。

(江原幸一 肺塞栓症・深部静脈血栓症友の会代表)

フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 8月6日(土)▶第12回CVC指導者養成コース
- 8月7日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)
- ▶医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門
- 8月24日(水)・25日(木)▶第2回輸液・シリンジポンプ医療安全プログラム
- 8月27日(土)▶第40回DAM実践セミナー in 紀伊田辺
- 9月3日(土)▶弾性ストッキング・コンダクター講習会(北海道室蘭地区)
- 10月9日(日)▶心臓血管外科専門医認定機構医療安全講習会
- 10月22日(土)▶弾性ストッキング・コンダクター講習会(岐阜地区)
- 11月5日(土)▶弾性ストッキング・コンダクター講習会(神奈川地区)
- 11月19日(土)▶第6回 医療安全推進フォーラム in 広島(日精看主催)
- 2012年1月18日(水)▶委員会シリーズ 医療安全(日精看主催)
- 2月6日(月)~10日(金)▶医療安全管理者養成研修会(日精看主催)
- 2月22日(水)▶委員会シリーズ 医療安全(日精看主催)

★ウェブマガジンは毎月1回、配信いたします。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>